

# 総合取引所の実現に向けて

平成30年10月

金融庁企画市場局市場課

# 世界の主な取引所の現状

海外は証券・金融先物と商品先物取引を1つの取引所で取り扱う総合取引所が主流

## CMEグループ

[証券・金融先物、商品先物]  
【6.03兆円】

- ・シカゴ・マーカンタイル取引所 (CME)
  - ・シカゴ商品取引所 (CBOT)
  - ・ニューヨーク商業取引所 (NYMEX)
- など



## ドイツ取引所

[現物株式、証券・金融先物、商品先物]  
【2.80兆円】

- ・フランクフルト証券取引所
  - ・ユーレックス
  - ・ヨーロッパ・エネルギー取引所
- など



## 日本取引所グループ

[現物株式、証券・金融先物]  
【1.11兆円】

- ・東京証券取引所
- ・大阪取引所



## インターコンチネンタル取引所 (ICE) グループ

[現物株式、証券・金融先物、商品先物]  
【4.47兆円】

- ・ニューヨーク証券取引所 (NYSE)
  - ・ICEフューチャーズ・US
  - ・ICEフューチャーズ・ヨーロッパ
- など

## 香港取引所

[現物株式、証券・金融先物、商品先物]  
【4.36兆円】

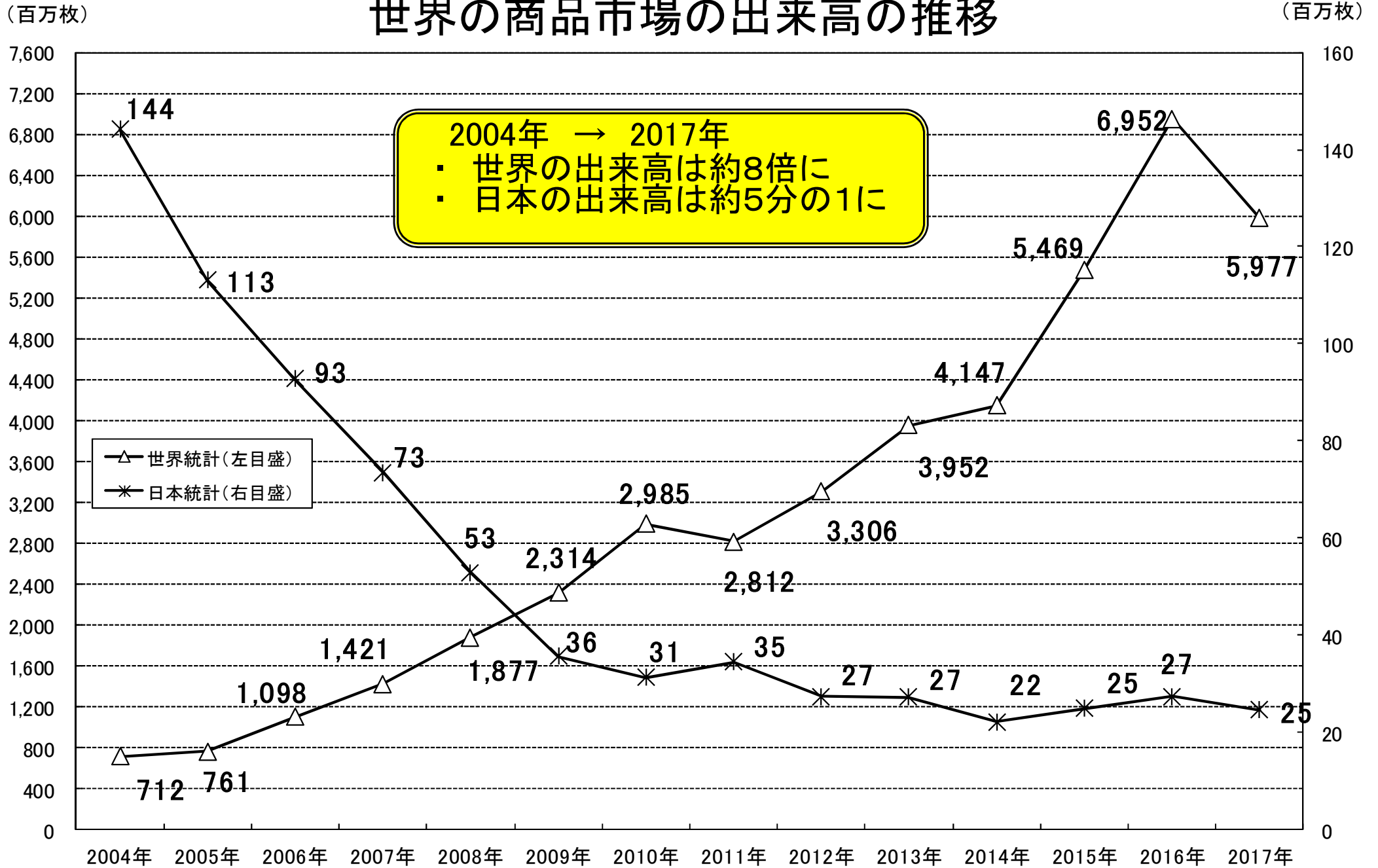
- ・香港証券取引所
- ・香港先物取引所
- ・ロンドン金属取引所 (LME)



(注1) [ ]内は、各取引所で取り扱われている金融商品(現物株式、証券・金融先物(株価指数、金利・為替等)、商品先物(金、原油、穀物等))

(注2) 【 】内は、取引所自身の株式時価総額(2018年5月末日時点。)、ブルームバーグより算出

# 世界の商品市場の出来高の推移

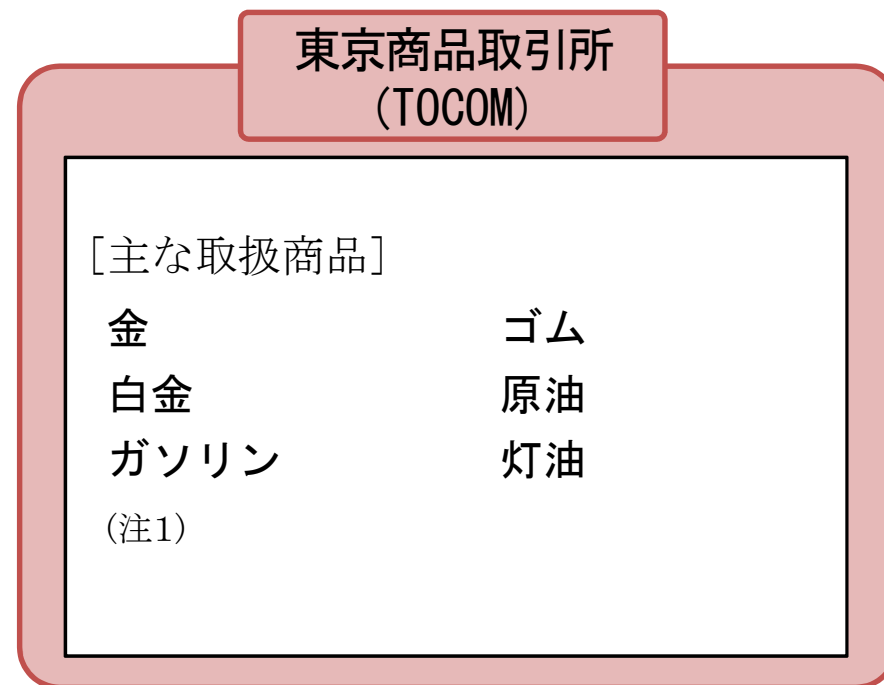
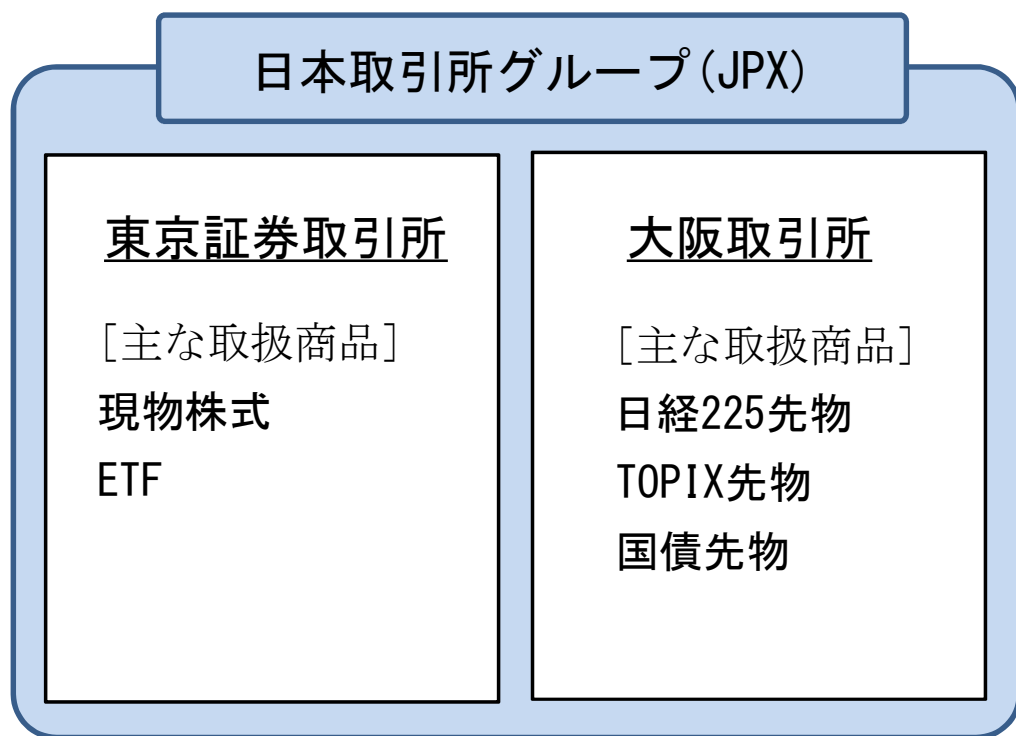


(出所) 世界: 世界先物取引業協会、日本: 日本商品清算機構  
 (注) 年間値

## 我が国の金融商品取引所・商品取引所の現状

金融商品取引所	
現物(現物株式等)	デリバティブ(金融先物等)

商品取引所
デリバティブ(商品先物等)



(参考) この他、金利先物・FXを取り扱う東京金融取引所(TFX)、現物株式を取り扱う札幌・名古屋・福岡証券取引所がある。

(注1) 東京商品取引所には、2013年2月に解散した東京穀物商品取引所から、とうもろこし、大豆、小豆、粗糖が移管されている(粗糖先物取引に係る立会は休止中)。

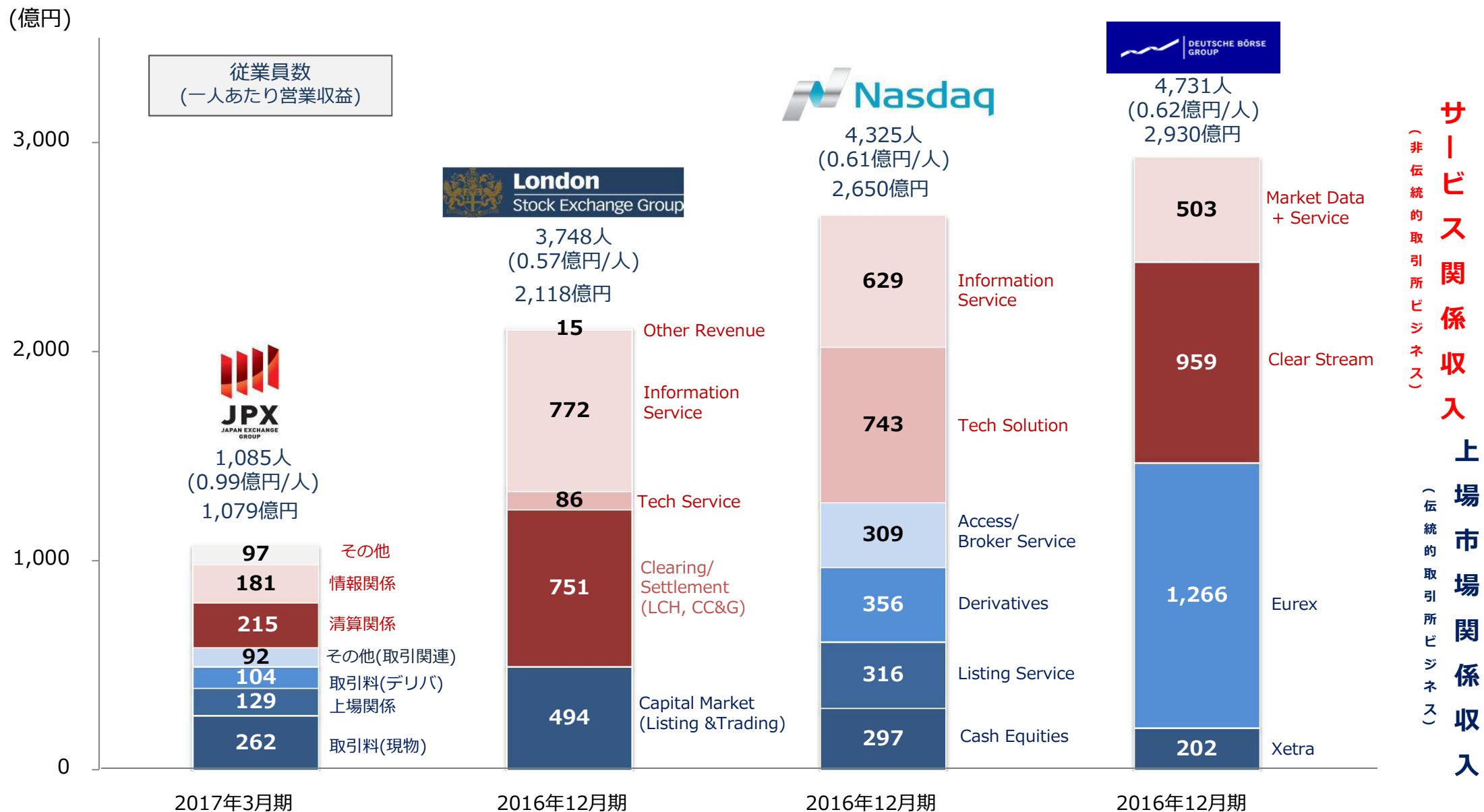
(注2) この他、農産物を取り扱う大阪堂島商品取引所がある。

所管：**金融庁**(金融商品取引法)

所管：**経済産業省・農林水産省**  
(商品先物取引法)

# 海外主要取引所とのセグメント別営業収益の比較

## 直近事業年度におけるセグメント別の営業収益



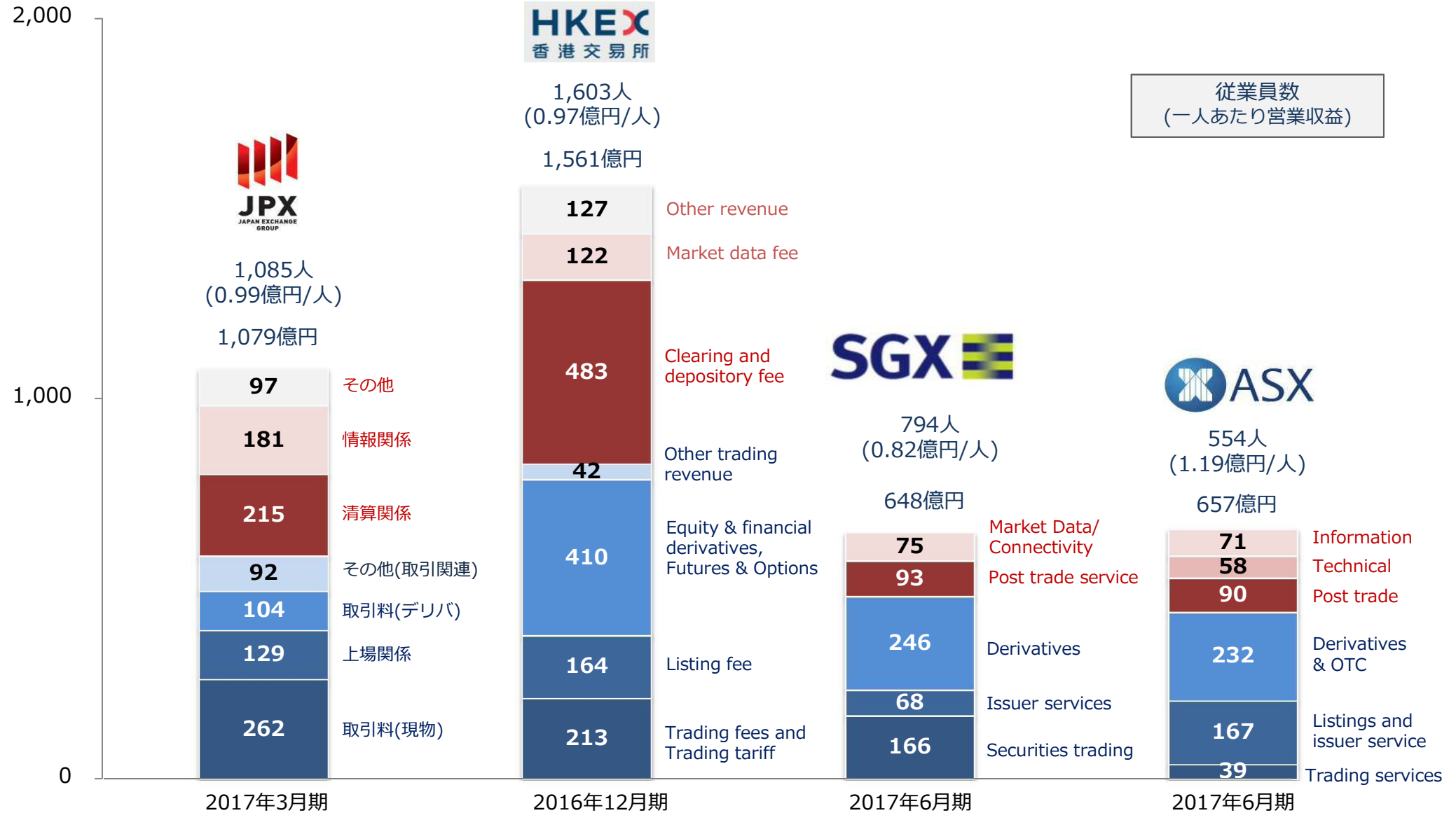
サービス関係収入  
(非伝統的取引所ビジネス)  
上場市場関係収入  
(伝統的取引所ビジネス)

【出所】各取引所公表データより作成

# アジアの主要取引所とのセグメント別営業収益の比較

## 直近事業年度におけるセグメント別の営業収益

(億円)

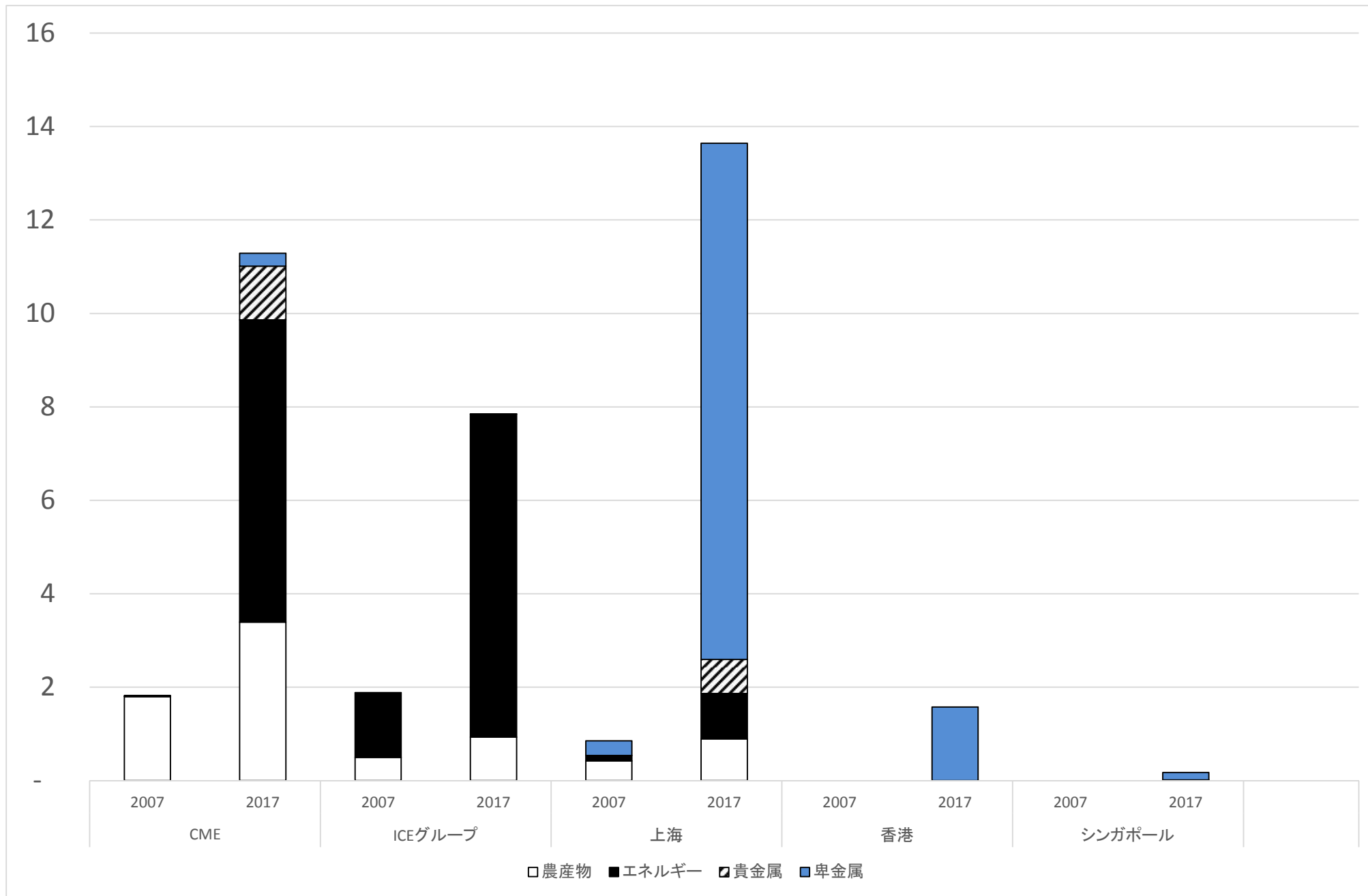


(非伝統的取引所ビジネス) サービス関係収入  
(伝統的取引所ビジネス) 上場市場関係収入

【出所】各取引所公表データより作成

# 世界の取引所の分野別取扱量(品目別)の推移

(単位:億万枚)



# 「総合取引所」に対する一元的な規制・監督 (金商法等改正 平成24年9月公布、平成26年3月11日施行)

